

No.	該当資料及び項目	質問	回答
1	実施要綱 5 審査及び受託候補者の選定	評価基準表の各評価項目および配点の内訳をご教示ください。	市公式ウェブサイトに評価基準を掲載しましたので確認をお願いします。
2	宇部市公式ウェブサイト 「シニアおでかけ応援事業『おでサポ』（協賛店）一覧」	Webサイトに公開されている「シニアおでかけ応援事業『おでサポ』（協賛店）一覧」は最新か。	一覧は随時更新しています。 令和8年4月15日時点の登録事業者数は147事業者です。
3	仕様書 1 業務名	おでサポの利用実績について、把握している範囲で利用件数や傾向をご教示ください。	令和8年2月実施の「市民アンケート調査」では、「おでサポを知っている」と答えた人は、118名中58名（42.9%）、「おでサポを利用したことがある」と答えた人は、118名中6名（5%）となっており、認知度及び利用率の向上が課題です。
4	仕様書 1 業務名	利用状況について、店舗ジャンル別または地区別の傾向があればご教示ください。	把握できておりません。
5	仕様書 1 業務名	これまで実施したおでサポ周知施策の内容、および把握している成果・課題をご教示ください。	広報うべへのおでサポ一覧の掲載、おでサポ店舗を活用したイベントの開催、FMきららでのCM放送などです。 イベントとしては、健康遊具の体験後におでサポ店舗をめぐる「おでサポツアー」は28名の参加、高齢者の交流を図る目的でおでサポ3店舗で開催した「高齢者の夜遊び」は26名の参加がありました。 課題としては質問3の回答のとおりです。

6	仕様書 1 業務名	これまでの周知施策と今回委託業務との役割分担について、市のお考えをご教示ください。	委託事業者と市の役割について、以下を想定しています。 委託事業者：市の示す方向性のもと、専門知識とリソースを活かし、広報・プロモーション活動を具体的に企画・実行し、事業の効率的かつ効果的な運営を担う。 市：事業全体の方向性を定め、必要な基盤（予算、制度設計、基本的な周知）を整備する。
7	仕様書 2 業務の目的	市として本業務において特に重視する成果指標またはKPIがあればご教示ください。	1. 本事業の成果指標 「おでサポ」認知度及び利用率の増加 2.KPI 閉じこもり傾向（週1回以上の外出がない）高齢者の減少 外出頻度が増加したと回答した高齢者の割合
8	仕様書 2 業務の目的	市として特に重点的に周知・利用促進を図りたい対象層、例えば、前期高齢者・後期高齢者、単身高齢者、地域別など、優先対象の想定があればご教示ください。	特に想定はしていません。

9	<p>仕様書</p> <p>2 業務の目的</p>	<p>高齢者本人以外に、家族、地域支援者、協力事業者等への訴求をどの程度想定しているか、ご教示ください。</p>	<p>訴求の程度の想定は特に設定していませんが、それぞれに期待することとしては、以下になります。</p> <p>1. 家族（子世代・孫世代） 高齢者の皆様が「おでサポ」サービスを利用する上での心理的・物理的障壁を解消し、利用を後押ししていただくこと。また、家族が情報伝達役や利用のきっかけづくり役となること。</p> <p>2. 地域支援者（地域包括支援センター、民生委員、自治会役員、高齢者サロン運営者、介護事業者、NPO団体等） 高齢者の身近な存在として、情報提供や利用推奨・利用支援を行っていただくこと。地域のネットワークを通じて、事業の認知度と信頼性を高めること。</p> <p>3. 協力事業者（シニアおでかけサポーター） 「おでサポ」事業の理念を理解し、優遇サービスの提供だけでなく、高齢者の「おでかけ」を積極的に応援する「地域の一員」としての役割を担っていただくこと。事業の顔として、利用者へ直接的に魅力を発信していただくこと。</p>
---	---------------------------	--	--

10	仕様書 2 業務の目的	『学生など若い世代の発想を』と要望がある場合、どのような効果や内容を期待するか。なぜ高齢者への周知について、若い世代の目線が必要だと考えるか。	1. 多様な媒体を通じた周知・啓発 ・ 高齢者ご本人だけでなく、そのご家族や身近な人への効果的なアプローチ ・ 高齢者の心を掴むような、視覚的に魅力的で分かりやすいコンテンツ制作等 2. 新たな視点からの価値創出と事業活性化 ・ イベント企画やプロモーション手法において、柔軟で創造的なアイデアによる、事業全体の活性化
----	----------------	---	---